

平成27事業年度

決算報告書

自：平成27年4月 1日

至：平成28年3月31日

国立大学法人長崎大学

平成27年度 決算報告書

国立大学法人長崎大学

(単位:百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	16,892	17,097	205	(注1)
施設整備費補助金	792	730	-62	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
補助金等収入	1,502	1,545	43	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	63	63	-	
自己収入	30,691	31,879	1,188	
授業料、入学料及び検定料収入	5,460	4,889	-571	(注4)
附属病院収入	24,835	26,467	1,632	(注5)
財産処分収入	9	9	-	
雑収入	387	514	127	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,750	4,043	1,293	(注7)
引当金取崩	-	600	600	(注8)
長期借入金収入	6,532	5,724	-808	(注9)
貸付回収金	-	-	-	
目的積立金取崩	138	100	-38	(注10)
計	59,360	61,781	2,421	
支出				
業務費	45,233	45,559	326	
教育研究経費	22,186	20,556	-1,630	(注11)
診療経費	23,047	25,003	1,956	(注12)
施設整備費	7,387	6,517	-870	(注13)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	1,502	1,545	43	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,750	3,465	715	(注15)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	2,484	2,427	-57	(注16)
国立大学財務・経営センター施設費納付金	4	4	-	
計	59,360	59,517	157	
収入-支出	-	2,264	2,264	

○予算と決算の差異について

(注1)運営費交付金については、予算段階で見込んでいなかった特別経費の追加交付があったため、予算金額に比して決算金額が205百万円多額となっております。

(注2)施設整備費補助金については、事業完了に伴い不用額が発生したことにより、予算金額に比して決算金額が62百万円少額となっております。

(注3)補助金等収入については、予算段階で予定していなかった科学技術人材育成費補助金等の交付があったため、予算金額に比して決算金額が43百万円多額となっております。

(注4)授業料、入学料及び検定料収入については、授業料免除枠の拡大及び予算段階との人数の差異等により、予算金額に比して決算金額が571百万円少額となっております。

(注5)附属病院収入については、新入院患者及び外来患者数の増加等により、予算金額に比して決算金額が1,632百万円多額となっております。

(注6)雑収入については、予算段階で見込んでいなかった学生寄宿舍料の増加、国立大学法人総合損害保険金収入及び消費税還付等の発生により、予算金額に比して決算金額が127百万円多額となっております。

(注7)産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究の受け入れ増加等により、予算金額に比して決算金額が1,293百万円多額となっております。

(注8)引当金取崩については、賞与引当金等を予算段階では見込んでいなかったため、予算金額に比して決算金額が600百万円多額となっております。

(注9)長期借入金収入については、中央診療棟新営工事にかかる設備整備費の一部が工期の延長により翌年度に繰越となったため、予算金額に比して決算金額が808百万円少額となっております。

(注10)目的積立金取崩については、法人化以前に発生した事件にかかる損害賠償請求が発生しなかったこと等により、予算金額に比して決算金額が38百万円少額となっております。

(注11)教育研究経費については、特殊要因経費(年俸制導入促進費)の翌期への繰越及び効率的な事業実施を行ったこと等により、予算金額に比して決算金額が1,630百万円少額となっております。

(注12)診療経費については、診療稼働の増加に伴う材料費の増加及びリース債務の支払いの増加等により、予算金額に比して決算金額が1,956百万円多額となっております。

(注13)施設整備費については、(注2)及び(注9)で示した理由等により、予算金額に比して決算金額が870百万円少額となっております。

(注14)補助金等については、(注3)で示した理由等により、予算金額に比して決算金額が43百万円多額となっております。

(注15)産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注7)で示した理由等により、予算金額に比して決算金額が715百万円多額となっております。

(注16)長期借入金償還金については、利率が見直され支払利息が減少したこと等により、予算金額に比して決算金額が57百万円少額となっております。